

上原コレクション名品選

# 花かおる絵画

uehara collection



オディロン・ルドン《花瓶の花》1910年頃

会期中無休  
2022年 1月22日 土 — 4月17日 日

開館時間 | 午前9時30分—午後4時30分(入館は午後4時まで)  
入館料 | 大人 1,000円 / 学生 500円 / 高校生以下無料  
\* 仏教館・近代館の共通券です  
\* 団体10名以上は10%割引

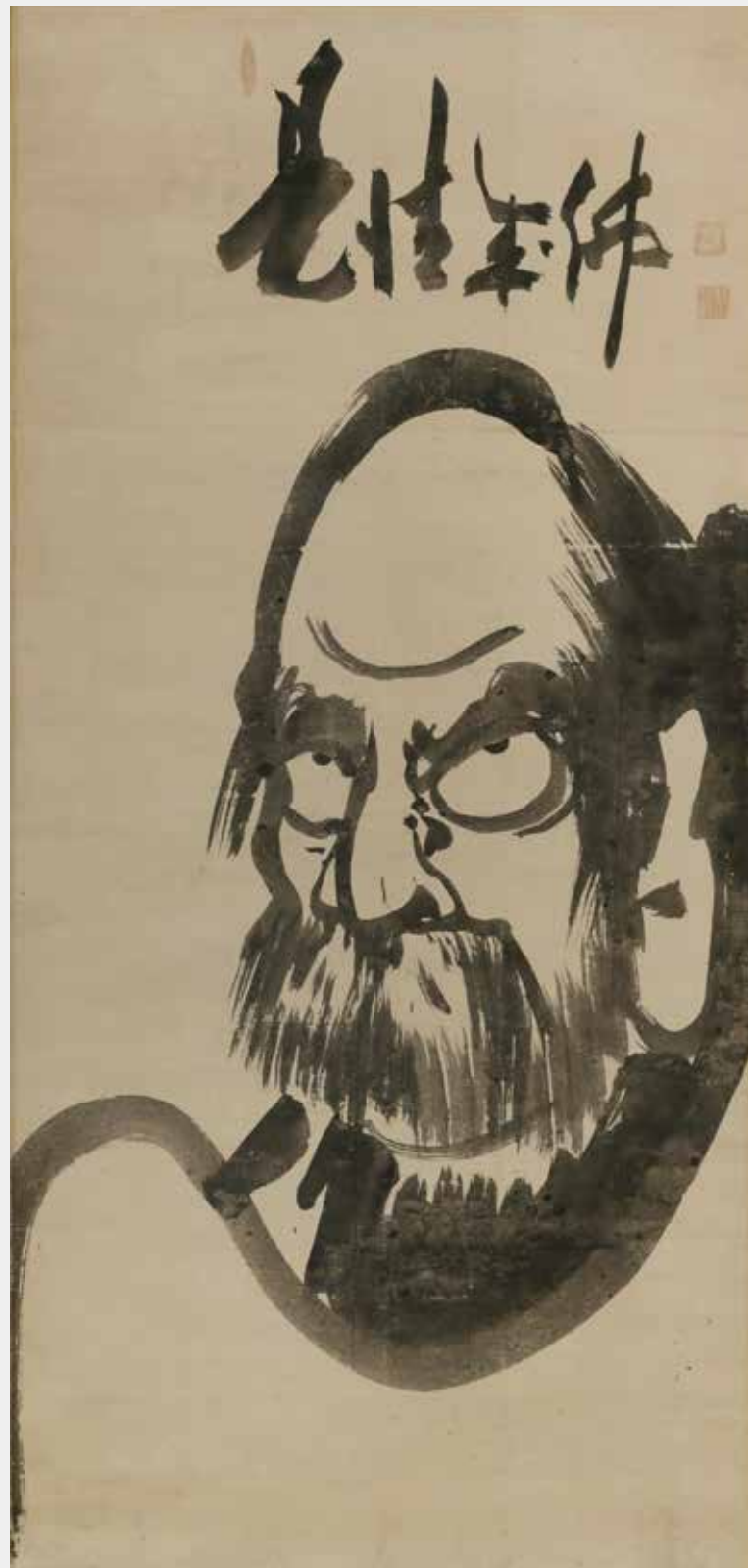
東洋と西洋の美の出会い

上原美術館  
Uehara Museum of Art

上原コレクション名品選

# 祈りの文字 祈りのかたち

uehara collection



達磨図(江戸時代・白隠筆)



狛犬(平安時代・木造・漆箔)



紫紙金字華嚴經(奈良時代・紫紙金字)

会期中無休  
2022年 1月22日 土  
— 4月17日 日

開館時間 | 午前9時30分—午後4時30分(入館は午後4時まで)  
入館料 | 大人 1,000円 / 学生 500円 / 高校生以下無料  
\* 仏教館・近代館の共通券です  
\* 団体10名以上は10%割引

東洋と西洋の美の出会い

上原美術館  
Uehara Museum of Art



小倉遊亀《梅》1962（昭和37）年

カミーユ・ピサロ《エラニーの牧場》1885年

安井曾太郎《桜と鉢形城址》1945（昭和20）年 **新収蔵・初公開**

アンリ・マティス《読書する女性》1922年

梅原龍三郎《薔薇図》  
1940（昭和15）年

「梅の花 香をかぐはしみ 遠けども 心もしのに 君をしぞ思ふ」（市川王、天平宝字2  
[758]年、万葉集）。これは今から1200年以上前の宴で、梅の香りに託して敬

本展では、洋の東西を問わず、絵や文字に込められた「祈りのかたち」をご紹介します。江戸時代に活躍した沼津出身の僧、白隠慧鶴は仏の教えを優しく解き明かし、広く人々に伝える手段として、その生涯に多くの絵や書を描きました。飄々とした作風は、昔も今も多くの人々を魅了しています。上原コレクションの《達磨図》は、ぎょろりとした目で上方をにらむ達磨を画面中央に大きく描き、禅の言葉「見性成仏」が書き添えられています。墨のみで表現された世界は、禅の境地を伝えるようです。

また仏の教えを伝える経典は文字ひとつひとつに、祈りを込めて書写されました。《中阿含経》（奈良時代・8世紀）は細身の文字が謹厳な書体であらわされた優品です。一巻約9mの経典ですが、よどみのない筆致は最後まで途切れることがなく、緊張感が伝わってきます。

ほかにもルオーが描くキリスト像、仏教美術コレクションの顔ともいえる十一面観音像や、阿弥陀如来像も展示いたします。さまざまな文字やかたちに込められた「祈りのかたち」をお楽しみください。

阿弥陀如来像（鎌倉時代・13世紀）

十一面観音像（平安時代・10世紀・重要美術品）

中阿含経（奈良時代・8世紀）

上原コレクション名品選

# 祈りの文字 祈りのかたち

uehara  
collection

上原コレクション名品選